やちよ市議会だより

八千代市イメージキャラクター「やっち」

第74号
平成27年11月
（2015年）

●発行　八千代市議会
●編集　八千代市議会広報委員会
●所在地　八千代市大和田新田312-5
●電話　047（483）1151（市役所代表）

平成27年　第3回定例会

平成26年度決算を不認定
12議案、1発議案を可決、1請願を採択

平成27年八千代市議会第3回定例会は、9月1日～29日までの29日間の日程で開催されました。一般質問は、9月7日から3日間で、18名が市政について質問しました。各委員会は、10～17日に開催され、付託された議案、請願、陳情を審査しました。

市長から条例の制定案など議案13件、諮問2件が提出され、審議の結果、議案第7号決算認定案については、賛成者少数で原案不認定、その他の議案などについては原案のとおり可決・認定・適任としました。決算認定案に反対する議員の討論では、事業仕分けについて、議会の審議を経ずに予備費により執行したこと、仕分け結果を無視して事業の廃止や縮小を推し進めていることから、実施すること自体を目的とした政治パフォーマンスであったこと、財源補填の必要がないにもかかわらず一般会計から国保会計へ6億1500万円の繰り入れを行ったことが不適切な財源移動であったことなどが指摘されました。このほか、請願6件、発議案（議員提出議案）8件を審議し、請願1件を採択、発議案1件を可決し、閉会しました。

（一般質問等は2面に、議案等の概要・議決結果は4面に掲載）

議場コンサートを開催します

八千代市議会で初めてとなる議場コンサートを開催いたします。八千代少年少女合唱団による美しい歌声を聴きにぜひお気軽にお越しください。

日　　時：平成27年12月19日(土)
【第1部】14:00から　【第2部】16:00から
各部30分程度を予定しております。
場　　所：八千代市議会本会議場
定　　員：第1部、第2部　各100人
対　　象：市内在住又は在学・在勤で、かつ平成27年度で満16歳以上となる方

選挙権年齢を18歳以上に引き下げたことに伴い、高校生の方も対象としました。議場の雰囲気に親しむことにより、八千代市議会を身近に感じていただきたいと考えております。

申し込み：観覧をご希望される方は、八千代市議会事務局庶務課まで**電話、ファクス又は電子メール**でお申込みください。
平成27年11月16日(月)から平成27年11月25日(水)の平日9:00から17:00まで（最終日は正午まで）受け付けいたします。

【八千代市議会事務局庶務課】
TEL：047-483-1151(内線3402、3403、3404)　**FAX**：047-484-6340
E-mail：gikai1@city.yachiyo.chiba.jp

お申込みの際は、①氏名、②住所、③連絡先(電話番号・メールアドレス等)、④年齢、⑤性別、⑥観覧者の人数(3名まで)、⑦観覧をご希望される部(第1部･第2部)をお伝えくださいますようお願いいたします。なお、当選者は先着順ではなく抽選で決定いたします。当選者には11月30日(月)までに郵送により通知いたします。

八千代市まち･ひと･しごと創生総合戦略の提言書を市長へ提出

平成27年第1回定例会において設置された地方創生調査特別委員会は、委員からの様々な提案をまとめた提言書を作成し、市長へ提出しました。

（詳細は3面に掲載）

八千代市議会で初めてとなる百条委員会を設置

情報公開審査会は、平成27年9月29日付の答申において秋葉市長の主導により改ざんされた公文書の開示決定を無効とする判断をし、この件が広く報道を賑わせております。

このことを受け、本市議会は、市政の正当性を担保し、再発防止と信頼回復を図るべく、行政への監視権限を持つ議会が調査を引き継ぐ必要があるとして、第3回臨時会において発議案第26号を全会一致で可決し、結果、八千代市議会初の、地方自治法第100条による調査を行うための委員会が設置されることとなりました。

秋葉市長の公文書改ざんに関する調査特別委員

委員長　緑川　利行
副委員長　大塚　裕介
委　員　小澤　宏司　木下　映実　菅野　文男　西村　幸吉　橋本　淳　林　隆文　堀口　明子　山口　勇
（10名、委員は氏名50音順）

平成27年　第3回臨時会

議決事件の一部変更について1件を可決

八千代市立八千代中学校校舎改築（建築）工事契約金額の増額を審議するため、平成27年第3回臨時会が10月7日に開催されました。（会期1日）

審議の結果、原案のとおり可決し、契約金額が増額されました。

（議案等の概要と議決結果は4面に掲載）

決算審査特別委員会を設置

平成26年度一般会計及び特別会計決算が不認定

第3回定例会において、平成26年度の決算認定案等（議案第7号・第8号・第9号）を審査するため、決算審査特別委員会が設置されました。

審査の結果、第7号については原案不認定、第8・9号については原案可決及び認定すべきものと決定し、本会議に報告されました。

委員からの意見等（要約）

▽**財政リスク回避戦略2014キックオフ**…具体的効果が決算上確認できなかった。

▽**事業仕分け**…委託料等が、本来災害時などでの充用を想定している予備費から充用されている。

▽**市長の姿勢**…議会提案により実施された施策の成果は自らの実績としながら、財政上の影響については、議会へ責任転嫁するなど矛盾している。

▽**行財政改革推進事業**…要改善とされた30事業のうち、21事業について、改善がないまま27年度当初予算が編成されており、事業仕分けの効果及び必要性について疑念を抱く。

▽**コミュニティ推進事業**…7千円余りの事業費で、地域コミュニティの推進を図ることは現実的ではない。

▽**障害者等タクシー利用助成**…対象者への利用案内を工夫し、登録者数の増加を。

▽**公民館運営事業**…審議会に対し、公民館の大幅な体制の縮小について事後報告のみになっている一方で、他の案件についてはワークショップ等の手法がとられており、既存の審議会に諮問していないことは恣意的に映る。

▽**自立支援訓練給付金**…給付実績が26年度1件という状況に鑑み、本事業の充実を。

▽**給食費**…納付方法や手数料が学校ごとに異なっているため保護者負担と公平性の観点から改善に取り組まれたい。

▽**国民健康保険事業**…一般会計からの繰り入れを実施しなくても2億円以上の黒字となっていた。その一方で、市長が福祉切り捨ての27年度一般会計当初予算案を提案したことに矛盾を感じる。

▽**水道管の改良工事**…契約金額が高額な工事になるため、企業の資格要件についてのガイドラインの検討を。

▽**下水道使用料**…生活保護世帯に対する法外援護という形での減免の検討を。

決算審査特別委員会(11名)

委員長　林　隆文
副委員長　山口　勇
委　員　植田　進　大塚　裕介　小澤　宏司　立川　清英　塚本　路明　成田　忠志　原　弘志　松﨑　寛文　緑川　利行

八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略の提言書を市長へ提出

提言書は、市の人口減少を軽減させ、より魅力ある都市へと発展させるために最も必要と考える4つの項目を示したものです。また、提言書にはこれらの施策例以外にも各委員から出された参考意見が記載されています。提言書は議会事務局で配布しており、市ホームページや市役所情報公開室でも閲覧することができます。

⑴シティセールスの強力な推進

考え方

八千代市は都心に近く、立地に恵まれているにもかかわらず、近隣市と比較して、魅力や個性が十分に認識されているとは言えない状況である。

本市の既存資源は魅力に溢れており、PRを強化することで、そのポテンシャルが存分に発揮される。市民満足度を高めるためにも、本市のイメージをさらに向上させる取り組みが求められる。

提　言

若い世代の流入を促進するため、米本・高津・村上団地に対して時代にあったリニューアルを推進すること。また、本市のイメージを向上させるため、ホームページなどにより情報を発信する広告・宣伝（Advertising）だけでなく、メディアの記者・編集者に情報を伝え、テレビ・雑誌等で取り上げてもらえるよう働きかける広報（Public Relations）を積極的に推進すること。

施策例

- 米本・高津・村上団地について、時代のニーズに合ったリニューアル等を促進し、市のPRを強化する。
- 市制50周年記念事業の実施。
- ニッポン全国鍋グランプリで優勝した源右衛門鍋（もちぶた炙りチャーシューバージョンとん汁）の活用。

⑵新川周辺の一体的活用

考え方

市域の中央を南北に流れる新川では、四季折々の風情が楽しめ、本市のシンボル的存在となっている。周辺にはやちよふれあいの農業の郷、総合グラウンド、中央図書館・市民ギャラリーなどの施設が設置され、市民の地域交流、生涯学習、スポーツ・レクリエーション等の場として活用されているところである。新川周辺をより魅力的なエリアへと昇華させるには、俯瞰的な視点で施策を実施しなければならない。

提　言

やちよふれあいの農業の郷、総合グラウンド、中央図書館・市民ギャラリーなどの各施設を線でつなぐことで相乗効果を発揮させるとともに、佐倉市、印西市などの近隣市との連携及び市民との協働による、新川周辺の一体的活用を図り、本市のシンボルとしての価値を高めること。

施策例

- 各所へのトイレや休憩所の設置。
- ウオーキング・サイクリングのルートや釣り場等の案内マップ作成。
- レンタサイクル推進による新川遊歩道の活用。

⑶子どもを起点とした施策の充実

考え方

地方創生に当たり、若い世代の就労・結婚・子育ての希望の実現が重要である。特に、子どもは八千代市の将来を担う貴重な存在であり、子どもを持つ世帯の多くは、子ども中心の生活を送っていることから、子どもを起点とした施策を充実させることで、効果的に地域を活性させることができる。

提　言

子どもを起点とした施策を充実させ、保育園や学童保育等の環境を整備することで待機児童の解消を行うとともに、関係機関と連携し、結婚・妊娠・出産・子育ての各段階における切れ目ない支援を総合的に推進すること。

施策例

- 保育園や学童保育所に関する施策を強化し、待機児童をゼロにする。
- 婚活ツアーの開催。
- お母さんに対する就業情報や保育園等の情報を一元的に提供する体制整備。
- 市内企業に対する事業所内保育、産休制度、育休制度の勧奨。
- 学童保育と放課後子ども教室の一体型運営及び拡充。
- 新川わくわくプレーパークの運営支援や、ガキ大将の森の再整備。
- 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、小中学生が他国について学習する機会の創出。

⑷「やっち」及び「バラ」のPR

考え方

八千代市イメージキャラクター「やっち」は、昨年開催されたゆるキャラグランプリにおいて健闘したものの、八千代市の知名度を高めるためにも、より一層のPRが求められる。

また、市の花「バラ」については、積極的な施策が打ち出せず、市内外への浸透が十分とは言えない。

いずれも本市の貴重な資源であり、さらなる有効活用を促進することで、ひいては本市の魅力向上につながるものと期待できる。

提　言

市のイメージキャラクター「やっち」及び市の花「バラ」を、本市の魅力や知名度を高めるための重要な資源と認識し、より一層のPRを進めることで、市民に親しみを持ってもらえるよう努めるとともに、京成バラ園など関係団体との連携、イベントの実施などの事業を推進すること。

施策例

- 京成バラ園との連携を強化する。
- 結婚・出産・入学などの人生の節目にバラ苗を贈呈。
- 公共施設等での「バラ」のPR。
- 「やっち」グッズ販売の推進。
- 他市イメージキャラクター等とのコラボレーションの促進。

地方創生調査特別委員会委員名簿

委員長	大塚　裕介	委員	木下　映実
副委員長	山口　勇	委員	高山　敏朗
委員	植田　進	委員	成田　忠志
委員	小澤　宏司	委員	松﨑　寛文

（平成27年3月20日設置）

市民クラブ

代表質問

■林　隆文　議員

平成26年度決算について

問　実質収支額における平成27年度予算での見込みと決算との差異は。

答　27年度は約7億2千万円となっております。（財）

問　決算剰余金が上振れした要因は。

答　歳出においては、生活保護費等の扶助費について支給対象が見込みを下回ったこと、街路建設に係る用地取得費について契約まで至らなかったことなどにより不用額が生じたこと。歳入におきましては、市税等において増収となったことが要因です。（財）

指摘　福祉作業所の建て替え、東消防署の移転、市役所本庁舎の耐震診断など手つかずとなっている部分が多々ある中で、予算を余らせることがよいことだと思っているのか。単に棚上げしているだけではないのか。

個別質問

■小澤　宏司　議員

地域力を生かした教育

問　市内小・中学校の地域との連携の現状について。

答　本市の特色ある取り組みとしては、学校支援地域本部の設置が挙げられ、現在は、睦地区の睦學友会、萱田地区のボラリス等が地域本部として取り組んでおります。（教）

要望　活動に対しての地域差があることは否めません。視察した福井市の中学校教育を参考にしていただきたい。

地域力を生かした福祉

問　八千代市社会福祉協議会支会の活動について。

答　主な活動は、高齢者や障害者等の健康増進を図る事業、子供の健全な育成を図る事業等があります。（健）

要望　社会福祉協議会の21の支会に対しては、最低でも7名の地域コーディネーターが必要だと考えます。来年度の予算編成に向け熟慮願いたい。

公明党

代表質問

■末永　隆　議員

問　八千代市が目指す地方創生について。

答　少子・高齢化、人口減少問題、地域経済の発展や活力ある地域社会の形成などの課題を踏まえ、人口・経済・地域・社会の課題に一体的に取り組んでいきます。（総）

問　議会設置の地方創生調査特別委員会との連携について。

答　議会と執行部が車の両輪となって連携し、地方版総合戦略等策定を進めることが肝要と認識しています。（総）

問　ホストシティ・タウン構想について。

答　国が示す取り組み例等も含め、東京オリンピック・パラリンピックに係る取り組みを検討中です。（総）

意見　市内の全小・中学校が1校につき1国を決め、その言葉で歴史を学び国際交流を図ることを提案。

問　防災・減災における備蓄・物流体制の整備について。

答　発災から3日間の被災者等の生命維持に最低限必要な物資を計画的に備蓄。（安）

問　市民の防災意識向上について。

答　総合防災訓練、防災フェア、自主防災組織の訓練を通して防災知識の普及と意識啓発を行っています。（安）

意見　防災会議へ女性委員のさらなる登用と拡充を提案。

自由民主党

代表質問

■塚本　路明　議員

市政運営及び行財政改革

⑴2年前の市長選挙

①立候補の真の目的②当時の現状分析と課題とは③市長の将来への夢と理想

⑵本市行財政の現状認識

⑶市政運営　2年間の取り組みと成果はあったのか

①行政改革②財政改革

⑷市債

①市債合計560億円に対しての現状認識②公債費と新規市債発行と地方交付税を踏まえた長期財政計画

⑸公共施設マネジメント

①本市の現状を把握した上での計画策定の目的と意義②公共施設統廃合を市民の理解の下いかに推進するのか③民間活力導入及びPFI④財政計画との整合性

⑹「住み続けたいと思える八千代市」の具体的な将来像

市長に具体的な将来像を尋ねるも、想いはあるが今までの2年間での実績と成果は全くなく、残存任期2年間での具体的な計画も今のところ決定していないとのこと。

新・みんなの広場

討　論

■高山　敏朗　議員

平成26年度決算認定について

○私達新・みんなの広場は後述の通り認定しましたが、総括審議では4対23で不認定。

○決算は、実質収支は黒字ですが、実質単年度収支は過去最大規模の赤字、各財政指標も多くが悪化し、経費増、借金増、貯金減と、財政の硬直化が進行、厳しい結果でした。しかし26年度予算は議会が修正可決した予算であり、市長は予算案に基づき事業を執行しており、決算が厳しいからといって不認定にはできません。決算は、予算を修正可決した議会と、それを執行した市長、両輪の責任であるからです。28年度以降への財政健全化の取組みの徹底を要請し、決算を認定しました。

日本共産党

代表質問

■堀口　明子　議員

高齢者の見守り

（条例化による情報提供）

足立区では2012年12月に孤独死ゼロを目指して「個人情報保護法の壁」をクリアして高齢者を見守る体制の条例案が可決しています。

本市でも手上げ方式での名簿化を進めていますが、なかなか進みません。一刻も早く取り組むべき課題であります。

問　高齢者の見守りと災害時の救助に生かせる情報の共有について、条例化への考えは。

答　個人情報の外部提供について条例化は可能ですが名簿登載者数の増加への対応等課題もあることから、平常時の高齢者の見守りと併せて災害時の名簿の取り扱いを研究していきたいと考えます。（健）

維新の党

代表質問

■菅野　文男　議員（質問事項）

⑴都市計画道路　概要・現状

⑵基金　今後の対応について

⑶空き家対策　現状について

⑷地場産業の活性化は　16号に案内看板を設置した経緯

個別質問

■松﨑　寛文　議員（質問事項）

(1)行財政改革について

(2)子ども・子育て支援制度

(3)学校適正配置について

(4)市民参加について

(5)公共施設耐震化について

新未来

代表質問

■河野　慎一　議員

マイナンバー制度について

問　10月から郵送される通知カードの返戻数は？

答　約2万5千世帯を見込んでいます。（総）

道路の舗装について

道路の舗装をアスファルトではなく、安く補修でき、耐用年数も長いコンクリートで行うように要望。

中央図書館の駐車場料金

料金の軽減方法を12月議会前に解決するように要求。

大和田・勝田台・八千代台図書館の図書購入費0は地域図書館廃止を目指すものでは。

台風、溢水対策について

市民と行政による常設型水害対策協議会を設置すべき。

会派に属さない議員

個別質問

■三田　登　議員

農業交流センターについて

低利用率、赤字続きの農業交流センターは廃止すべき。

福祉作業所の民営化について

協定に行政の強制力がないと障がい者の権利は守れない。

今年度の図書購入費について

議会の傍聴

本会議や常任委員会等は、傍聴することができます。傍聴を希望する方は、市役所4階の議会事務局で、氏名等を記載し、傍聴証をお受け取りください。団体傍聴は、前日までに申請が必要です。

また、本会議の模様はインターネットでもご覧いただけます。詳しくは、市ホームページ内「八千代市議会」のバナーをクリックしてください。

●会派別議員名簿

（現員28名）◎は代表者
平成27年10月1日現在

会派名	所属議員氏名
市民クラブ（7名）	◎横山　博美（総）　嵐　芳隆（福）　伊東　幹雄（文） 江野澤隆之（産）　大塚　裕介（産）　小澤　宏司（総） 林　隆文（福）
公明党（5名）	◎木下　映実（福）　正田富美恵（総）　末永　隆（福） 立川　清英（文）　緑川　利行（産）
自由民主党（3名）	◎林　利彦（文）　成田　忠志（産）　西村　幸吉（福）
新未来（3名）	◎山口　勇（文）　河野　慎一（総）　松﨑　寛文（産）
新・みんなの広場（3名）	◎橋本　淳（総）　高山　敏朗（文）　原　弘志（産）
日本共産党（3名）	◎堀口　明子（福）　伊原　忠（文）　植田　進（総）
会派に属さない議員（4名）	奥山　智（文）A　三田　登（福）B 菅野　文男（産）C　塚本　路明（総）D

☆（総）⇒総務、（福）⇒福祉、（産）⇒産業都市、（文）⇒文教安全を表しています。

☆「会派に属さない議員」のアルファベット表記は4面の「議決結果一覧」の表記に対応しています。10月1日付け会派「維新の党」の解散に伴い、菅野文男議員が会派に属さない議員となり、松﨑寛文議員が会派「新未来」に所属しました。また、塚本路明議員は会派「自由民主党」から会派に属さない議員となりました。

答弁者の略称は、（市）：市長、（総）：総務企画部、（財）：財務部、（健）：健康福祉部、（安）：安全環境部　をそれぞれ表します。

議案等の概要

件名については、議決結果一覧をご覧ください。

【第３回定例会】

予算関係

■**議案第10号**　歳入歳出それぞれ５億６１８６万６千円を追加し、総額を５６６億３２６９万円とするもの。

■**議案第11号**　歳入歳出それぞれ６６２２万８千円を追加し、総額を１０５億５８１３万７千円するもの。

■**議案第12号**　資本的収入では１１３５万７千円の増額。資本的支出では１１３７万３千円の増額をするもの。

条例関係

■**議案第１号**　法律に基づき個人番号を利用できる事務以外に社会保障、地方税、防災に関する事務その他これらに類する事務であって地方公共団体が条例で定める事務に個人番号を利用することができるため、個人番号の利用範囲及び特定個人情報の提供等に関し必要な事項を定めるもの。

■**議案第２号**　上下水道事業運営審議会を設置するため、条例を制定するもの。

■**議案第３号**　個人番号を含む特定個人情報の利用及び提供の制限を規定するほか、特定個人情報に係る自己情報の開示請求等に係る請求対象者を定める等のため、条例を改正するもの。

■**議案第４号**　被用者年金制度の一元化等を図るための厚生年金保険法等の一部を改正する法律の施行に伴い、条例を改正するもの。

■**議案第５号**　市民税、固定資産税、軽自動車税、特別土地保有税、入湯税に係る申告書等の記載事項に個人番号又は法人番号を追加する等のため、条例を改正するもの。

■**議案第６号**　建築基準法の一部改正等に伴い、建築物に対する制限の適用除外に関する移転に係る認定申請手数料等を定めるため、条例を改正するもの。

その他

■**議案第７号**　平成26年度八千代市一般会計及び特別会計決算を、監査委員の意見を付けて議会の認定に付するもの。

■**議案第８号**　平成26年度八千代市水道事業会計の資本剰余金４６５万６５９６円、未処分利益剰余金14億６５５１万３９５９円を資本金へ組み入れる処分、及び未処分利益剰余金１億３９２２万５４３９円を減債積立金に積み立てる処分、並びに決算を、監査委員の意見を付けて議会の認定に付するもの。

■**議案第９号**　平成26年度八千代市公共下水道事業会計の資本剰余金３５９５万３４０８円、未処分利益剰余金７億８２１５万４１０６円を資本金へ組み入れる処分、及び決算を、監査委員の意見を付けて議会の認定に付するもの。

■**議案第13号**　インフレスライド条項に基づき、八千代市立勝田台小学校校舎地震補強等（建築）工事に係る契約金額の変更契約を締結するもの。

■**諮問第１・２号**　人権擁護委員である木村恵子（きむらけいこ）氏及び豊田正昭（とよだまさあき）氏が平成27年12月31日付けで任期満了となることに伴い、引き続き委員として推薦するもの。

【第３回臨時会】

■**議案第１号**　公共工事設計労務単価の引上げを受けた、国からの要請に基づき契約金額を増額するもの。

採択された請願

■**請願第27号**　関連団体及び住民等の意見も聞きながら八千代台地区再整備を推進し、ビジョンに沿った計画的なまちづくりを市に求めるもの。

可決された発議案

■**発議案第18号**　市に対し、６月定例会において議会が全会一致で行った決議に真摯に対応し、市政運営に当たるよう強く求めるもの。

【第３回臨時会】

■**発議案第26号**　秋葉市長主導による公文書改ざん等の行為に関する経緯や原因等を明らかにし、再発防止と信頼回復を図るため、地方自治法第１００条の規定に基づく調査を行うもの。

12月定例議会日程

▽２日　開会・提案説明
▽８～11日　一般質問
▽14・15日　各常任委員会
▽22日　総括審議・閉会

議決結果一覧

平成27年第３回定例会〔議案・諮問・発議案〕　議決日：平成27年9月29日

番号	件名（件名の後ろの【　】内は、付託先委員会を表します。）	市民クラブ(6)	公明党(5)	自由民主党(4)	新・みんなの広場(3)	日本共産党(3)	維新の党(2)	新未来(2)	会派に属さない議員A(1)	会派に属さない議員B(1)	賛成数	反対数	議決結果
議案第１号	八千代市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定について【総務】	○	○	○	○	×	○	○	○	×	23	4	原案可決
議案第２号	八千代市上下水道事業運営審議会条例の制定について【産業都市】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	27	0	原案可決
議案第３号	八千代市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について【総務】	○	○	○	○	×	○	○	○	×	23	4	原案可決
議案第４号	八千代市職員の再任用に関する条例の一部を改正する条例の制定について【総務】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	27	0	原案可決
議案第５号	八千代市税条例の一部を改正する条例の制定について【総務】	○	○	○	○	×	○	○	○	×	23	4	原案可決
議案第６号	八千代市手数料条例の一部を改正する条例の制定について【総務】	○	○	○	○	×	○	○	○	×	23	4	原案可決
議案第７号	決算認定について【決算】	×	×	×	○	×	×	×	○	×	4	23	原案不認定
議案第８号	八千代市水道事業会計資本剰余金及び利益の処分並びに決算の認定について【決算】	○	○	○	○	×	○	○	○	○	24	3	原案可決及び認定
議案第９号	八千代市公共下水道事業会計資本剰余金及び利益の処分並びに決算の認定について【決算】	○	○	○	○	×	○	○	○	○	24	3	原案可決及び認定
議案第10号	平成27年度八千代市一般会計補正予算（第1号）【各常任委員会】	○	○	○	○	×	○	○	○	×	23	4	原案可決
議案第11号	平成27年度八千代市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）【福祉】	○	○	○	○	×	○	○	○	○	24	3	原案可決
議案第12号	平成27年度八千代市公共下水道事業会計補正予算（第1号）【産業都市】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	27	0	原案可決
議案第13号	議決事件の一部変更について（八千代市立勝田台小学校校舎地震補強等（建築）工事）【文教安全】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	27	0	原案可決
諮問第１号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（木村恵子氏）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	27	0	適任
諮問第２号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（豊田正昭氏）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	27	0	適任
発議案第18号	全会一致の議会決議に対し真摯に対応するよう求める決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	27	0	原案可決
発議案第19号	環太平洋連携協定（TPP）交渉撤退を求める意見書について	×	×	×	×	○	×	×	×	○	4	23	原案否決
発議案第20号	農業委員会の公選制維持と機能充実を求める意見書について	×	×	×	×	○	×	×	×	○	4	23	原案否決
発議案第21号	労働者派遣法改正案の廃案を求める意見書について	×	×	×	△2	○	×	○	×	○	8	19	原案否決
発議案第22号	緊急に介護報酬の再改定を求める意見書について	×	×	×	○	○	×	×	○	○	8	19	原案否決
発議案第23号	川内原発の稼働を停止し「原発ゼロの日本」を求める意見書について	×	×	×	○	○	×	×	×	○	7	20	原案否決
発議案第24号	「マイナンバー制度」の運用中止を求める意見書について	×	×	×	×	○	×	×	×	○	4	23	原案否決
発議案第25号	「安全保障法制案」の廃案を求める意見書について	×	×	×	○	○	×	○	○	○	10	17	原案否決

※　「各会派の賛否」における「会派に属さない議員」はアルファベット表記しており、以下のとおり対応しています。
　A：奥山 智議員　B：三田 登議員

平成27年第３回臨時会〔議案・発議案〕　議決日：平成27年10月7日

番号	件名（件名の後ろの【　】内は、付託先委員会を表します。）	市民クラブ(6)	公明党(5)	自由民主党(3)	新未来(3)	新・みんなの広場(3)	日本共産党(3)	会派に属さない議員A(1)	会派に属さない議員B(1)	会派に属さない議員C(1)	会派に属さない議員D(1)	賛成数	反対数	議決結果
議案第１号	議決事件の一部変更について（八千代市立八千代中学校校舎改築（建築）工事）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	27	0	原案可決
発議案第26号	秋葉市長の公文書改ざんに関する調査について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	27	0	原案可決

※　賛否の数には議長は含まれません。
※　個別の賛否結果については、ホームページ上でご覧になれます。
※　「各会派の賛否」における「会派に属さない議員」はアルファベット表記しており、以下のとおり対応しています。
　A：奥山 智議員　B：三田 登議員　C：菅野 文男議員　D：塚本 路明議員

平成27年第３回定例会〔請願〕　議決日：平成27年9月29日

番号	件名	議決結果	
請願第24号	介護報酬の再改定を求める請願【福祉】	賛成者少数	不採択
請願第25号	安保関連法案の慎重審議を要請する意見書を提出することを求める請願【総務】	賛成者少数	不採択
請願第26号	安全保障関連２法案の廃案を求める意見書採択に関する件【総務】	賛成者少数	不採択
請願第27号	第４次総合計画後期基本計画に位置づけた八千代台地区再整備計画策定に関する件【総務】	賛成者全員	採択
請願第28号	地域創生の観点から、街路樹、街路草花の管理に関することについて【総務】	賛成者少数	不採択
請願第29号	安全保障関連２法案の廃案を求める意見書採択に関する請願書【総務】	賛成者少数	不採択

陳情に係る委員会審査結果一覧

番号	件名	審査結果	
陳情第34号	外国人の扶養控除制度の見直しを求める意見書の採択を求める陳情【総務】	賛成者なし	不採択

※　執行機関に対する請願が採択された場合は、次の定例会で処理の経過及び結果が報告されます。
　なお、審査しないこととなった陳情は、掲載しておりません。

●ご意見・ご感想をお寄せください。
議会事務局庶務課 電話（483）1151（代表）　FAX（484）6340